

特ラ機構レポート No.178

令和3年1月1日

新年の挨拶	2
令和2年度 第4回理事会 報告	4
運用連絡と調整の総件数	10
新規加入会員紹介コーナー	13
第20回 特ラ機構 技術賞 受賞者	15
マラソン、駅伝・イベントの情報	18
地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に向けた 電波発射について ..	19
混信寸前の重大インシデント発生中	20
ちょっとブレイク	21
事務局 便り	25



新春のご挨拶

(一社)特定ラジオマイク運用調整機構 理事長 渡邊 邦男

新年明けましておめでとうございます。

昨年発生した新型コロナウイルスのパンデミックに翻弄されながらも、皆が粘り強く戦い続けている昨今、様々な思いを胸に、令和3年の元旦をお迎えのことと存じます。

今年の干支は「辛丑(かのとうし)」。耐えて、芽吹きを迎える年とも言われています。コロナ禍の影響で延期となった東京オリンピック・パラリンピックの開催を筆頭に、文化・芸術・スポーツなど、特定ラジオマイクを利用するすべてのイベントにおいて、感染症対策で大きく変化した環境を、一つ一つ整理し、良い方向に転じていく年にしていかなければなりません。



特ラ機構では、昨年実施したコロナ禍の影響による会員の皆さまへの支援策を、令和3年度も検討しています。また、遅れておりました第20回特ラ機構技術賞の受賞者も決定し、このレポートに掲載しております。それに伴い、第21回技術賞の募集を開始いたしましたので、よろしくお願いいたします。

周波数移行が完了して3年目となる特定ラジオマイクの運用面では、地上デジタルテレビ放送の高度化に向けた4K・8K実験放送への対応や、TVホワイトスペース帯および1.2GHz帯の有効利用に関わる各方面への協力体制を維持し、会員の皆さまへの情報提供に努めてまいります。

また、チャンネルリスト等の諸問題解決に向けても、総務省のご指導のもと、官民一体となって努力を続けていく所存です。

今年も、TVホワイトスペース等利用システム運用調整協議会の放送・エリア会員も含めた、特定ラジオマイクを利用されているすべての皆さまからお寄せ頂いた要望を検討し、利便性を高めるとともに、公平で安全・安心な運用が継続できる体制作りに取り組んでまいりますので、会員の皆さまの更なるご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、令和3年が、皆でコロナを克服し、希望に満ちた年になることを心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和3年元旦

新年のご挨拶

技術委員長 小川 一郎
ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ(株)

2019 年より、技術委員会の委員長を務めております。

日頃からの事務局・技術委員・会員の皆様からの多大なご協力とご支援に感謝し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

特定ラジオマイクの周波数移行が完了してから、今年で3年目となります。

周波数移行後、国際的なスポーツイベントや展示会、ライブ・コンサートなどにおける特定ラジオマイクの活躍は目覚ましく、世の中に感動を届ける重要な役割を担っていることを日々実感しております。



現在、特定ラジオマイクを取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。

例えば、地上デジタル放送の高度化(4K・8K 放送)の検討、携帯電話の5Gサービス開始、ライブのネット配信サービスなど、放送・通信分野は劇的なスピードで進化しています。

加えて、新型コロナウイルスが、特定ラジオマイクを運用されている会員の皆様をはじめ、私たちの生活にも深刻な影響を及ぼしており、いまだ予断を許さない状況にあります。

こうした技術の進化、また環境や生活様式の変化に伴う、スポーツやライブなど各種イベントの開催スタイルや楽しみ方の急速な変化は、特定ラジオマイクを運用・活用する場面の多様化・多彩化をもたらします。機材の利便性や安全な運用・管理対応など、運用面で新たな課題が生じ、これらを向上・進化させるためには迅速な解決策が求められると考えています。

昨年技術委員会は、事務局と第一線で活躍する有識者の参加協力を得て、より現場目線で迅速な意見交換や、課題解決への取り組みが行える体制となりました。

今後も、特定ラジオマイクの安心・安全な運用を通して世の中に感動を届けるべく、事務局と一丸となって技術課題に取り組み、会員の皆さまに有益な情報発信と共有を行っていく所存です。

この新しい年がより良い年でありますように心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

[理事会報告] 令和2年度 第4回理事会 [リモート会議]

1. 日 時 令和2年12月2日(水) 15時～17時
2. 出席者 (理事長・理事・監事総数 22名)
出 席 [理事長] 渡邊邦男
[理 事] 池上行大, 石橋 透, 岩井佳明, 小野良行, 北口紀雄, 小林 敬,
小間新五, 鈴木久利, 瀬谷正夫, 永谷俊之, 本間俊哉, 右田研介
[監 事] 伊藤 博
委任出席 [理 事] 上田好生, 小俣公洋, 金光浩昭, 西澤勝之, 則行正信, 萩原桂吾,
吉田廣嗣, 國枝義久

3. 令和2年度 第4回理事会

渡邊理事長から、今回の理事会は顔を合わせられると思っていたが、残念ながらコロナ禍が落ち着くことなくリモート会議として開催した旨と、審議事項では前回(第3回理事会)提案した会員支援について再び審議し、第5回理事会(令和3年2月)での継続審議を経て、第6回理事会(令和3年4月)には決定したいとの挨拶があった。

4. 議 題 【報告事項】

(1) 運用連絡と調整の近況について (理事会資料: 10～12頁)

- a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

(2) 特ラ機構レポート

177号は、令和2年10月29日(木)に発送済。178号は12月下旬に発送予定となっている。
内容は、理事会報告、新規加入会員紹介、技術賞関連記事などを掲載予定。

(3) 各委員会報告

① 賛助委員会

令和2年10月から11月の期間に「賛助委員会」の開催はなかった。

② 技術委員会

この期間、機構側で日程の調整が難しかったため、技術委員会の開催はなかった。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

新型コロナウイルスの影響で、本年3月に締め切られた推薦作品の選考会開催が延期となり、4月に各委員宛へ応募作品の事前評価シートの提出をお願いした。その後、スタジオでの選考委員会開催の時期を図っていたが、漸く11月12日(木)、サウンドクラフト早稲田スタジオにて選考委員会を開催するに至った。5時間におよぶ慎重な審議の結果、各賞の受賞者を決定した。なお、各受賞者へのお知らせは、特ラ機構レポート178号を発送する12月下旬におこない、贈賞に関しては、クリスタルトロフィーと盾の制作が完了する令和3年2月から3月を予定している。

④ 編集委員会

第 82 回編集委員会は、令和 2 年 11 月 25 日(水) に当機構事務局にて開催した。出席者は 6 名。177 号を振り返って反省点等を確認した他、178 号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。

(4) 総務省関係、ARIB 関連の報告

① 総務省関連

今期は特に無かった。

② 各総合通信局関連

- ・令和 2 年 10 月 12 日(月)、11 月 5 日(木)、同月 12 日(木)、総務省関東総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、行政手続における押印原則の見直しが進められている。これに合せて、これまで代表者印の押印を求められてきた無線局免許申請関係書類についても、令和 2 年 12 月 1 日から押印不要との指示が関東総合通信局からあった。

③ ARIB 関連

今期は特に無かった。

(5) TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会(略称: WS 協議会)

① 統合 DB 作業班

令和 2 年 11 月 26 日(木) Web 会議にて 2020 年度下期改修に関する協議をおこなった。

② 幹事会

令和 2 年 11 月 10 日(火)、Web 会議にて第 53 回幹事会が開かれた。主な議題として「2.3GHz 帯のダイナミック周波数共用の運用調整機能の実現について(※)」の説明と意見交換があった。特定ラジオマイクに関連する項目は特になかった。

※ FPU(テレビ放送用の無線中継伝送装置)用として放送事業者へ割り当てられている 2.3GHz 帯について、「二次利用者」である携帯電話事業者も共用できる運用調整の仕組みをつくらうというもの。

③ WS 協議会負担金の支払い状況

令和 2 年度第 1 ～ 2 四半期の WS 協議会負担金(新規分の登録費・運用調整費)について、合計 705,350 円となった。令和 2 年 11 月 30 日(月)に支払いをおこなった。

令和 2 年度の WS 協議会負担金(既存会員分の運用調整費)については、WS 協議会側と確認作業をほぼ完了しており、状況を見て支払いとなる予定である。

(6) 情報通信月間協議会報告

令和 2 年 11 月 26 日(木)、Web 会議にて第 3 回運営連絡会が開かれた。主な議題として、以下の 4 項目について報告や審議があった。

- 1, 「2020 年度情報通信月間行事実施状況報告」
- 2, 「2020 年度情報通信月間推進協議会決算(見込み)」
- 3, 「2021 年度情報通信月間推進協議会行事実施計画(案)」
- 4, 「2021 年度情報通信月間推進協議会予算(案)」

なお、毎年、特ラ機構と関東総合通信局の共催で開催している情通月間参加行事については、新型コロナウイルスの影響で中止となっている。

(7) 令和3年度の再免許手続きの進捗状況

令和2年11月13日(金)、再免許対象会員(260会員)へ関係書類の発送をおこなった。回答や必要書類が事務局へ未着となっている会員については、締め切り後、個別に連絡をとって対応する予定となっている。

(8) 東京オリ・パラ組織委員会

今期、組織委員会を含む打ち合わせ等は開催されなかった。

(9) 地上4K・8Kデジタル放送の実験試験局運用について

スケジュール調整中となっていた名古屋地区において、UHF35chを使用した実験が令和2年11月9日(月)から再開した。今後も、試験電波発射のスケジュールについては、決まり次第、当機構ホームページおよび特ラ機構レポートで随時告知していく。

(10) 短信、その他

① ホームページ更新

10・11月の更新においては、最新号の特ラ機構レポートの更新、チャンネルリスト新規追加分の更新をした。また、地デジ4K・8K実験試験局情報のページにおいては名古屋地区の試験電波発射再開に伴い、一部の文章を変更した。

② 運用連絡票の送付時間について

現在、運用連絡票は主にEメールにて受け付けているが、事務局の受付時間外や休業日に送られた運用連絡票については翌日の処理となっている。その為、運用調整システムに登録されることのないままマイクが運用されてしまう、といったケースが少なからず発生している。混信防止の観点から、このような運用は電波法の主旨に反する行為ともいえるので、該当運用者には余裕を持って運用連絡票を送るよう、Eメールなどを通じて重要性を訴えている。

③ チャンネルリストの追加

新規検討にて「有明アリーナ」(東京都江東区)が、TVWSチャンネルリストへ追加された。
(※ 当機構ホームページに掲載済)

⇒以上の報告事項について、出席理事全員の承認があった。

【審議事項】

(1) 会員の入退会 令和2年10月～11月分

【入 会】

関 東：ベースメント合同会社，エスアールテックプランニング合同会社，公益財団法人や
まなし産業支援機構（山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨），小松崎 永行，
株式会社サクラサウンド，松竹ナビ株式会社
信 越：川久保 克俊
近 畿：積水ハウス株式会社（W OSAKA），枚方市（枚方市総合文化芸術センター）

【退 会】

関 東：サッポロ不動産開発株式会社（パノラマスペース common ginza）
東 海：日本総合テレビ株式会社
近 畿：学校法人同志社（同志社大学 明德館），株式会社バイタルアートボックス（道頓
堀 ZAZA）
九 州：吉本興業株式会社

(2) 会員数

令和2年11月末現在 1,445 会員

(3) 無線局数

令和2年11月末現在 46,397 局

〈内 訳〉

① 470～714MHz 帯

ラジオマイク 35,424 局

イヤーマニター 2,502 局

② 1.2GHz 帯

ラジオマイク 8,471 局

合 計 46,397 局

(4) 後援名義使用許可依頼

「JPPA AWARDS 2021」後援名義使用許可依頼

一般社団法人日本ポストプロダクション協会より、「JPPA AWARDS 2021」への後援名
義使用の承認依頼があり、慣例をもって承認した。

(5) コロナ禍の影響を受けた会員への支援について

- ・ 令和2年度予算書の見直し
- ・ 令和2年度会費納入状況

事務局より上記データにて、機構の会計現況と予算書見直しの報告があった。

会計の現況と予算見直し報告後、渡邊理事長から下記の発言があった。

渡邊理事長：コロナ禍の最中、いつ収束するのか分からない中で、会員への支援はもちろん、機構の運営や発展も考えに入れることが必要。「予算書の見直し」と「令和2年度会費納入状況」「運用連絡の推移」を加味した上で、来年度の会員支援について話し合いたい。

各理事へ意見を募ったところ、下記の意見が出された。

1. WS協議会への負担金の減額に努めてほしい。
2. 来年度に今年度並みの支援ができるかどうかは未確定だが、機構運営において許される部分において経費を削減していく。
3. コロナ禍はいつ収束するか分からない状態にある。劇的に改善したとしても、会員の収益が戻るのはオリンピック後になるので、来年度の支援は必要になる。どこかで今年度並みの支援ができるかどうかを決定するべき。一方で、継続できる支援も考えていかなければならない。
4. 先の事は不透明で長期的な支援も要すると思うが、取り敢えずは来年度に可能な支援を決定すべき。
5. 来年度における支援の見通しを立てる上では、今年度の年会費・運用調整費の減額方法に沿ったかたちがよい。また、もう少し減額するのであれば、運用調整の状況を見て考えたい。
6. 年会費・運用調整費の納入期日を延ばすことも支援のひとつである。

以上の意見を踏まえて、渡邊理事長から下記の話があった。

渡邊理事長：支援の方法としては、今年度と同じく納入期日を延ばすことも見据えて、年会費、運用調整費の減額という2つの事を考えている。コロナ禍にあって、事務局もテレワークを取り入れた多様な働き方にチャレンジしている。今後は、より長期的な視野にたって、設備・施設等も含めたテレワークシステムも考慮した上で、どこまで経費が落とせるか算出する。コロナ禍による不況が長期化するか、しないかは予断を許さない状況だが、皆様のご意見を取り入れ、会計予測と支援額パターンを算出して、次回の令和2年度第5回理事会(令和3年2月)に諮りたい。その上で、第6回理事会(令和3年4月)で決定する。その後も長期的な支援を模索していきたいと考える。

その他の意見（現場での対策など）

- a. 先日、自分が担当する劇場で、出演者を中心としてクラスターに近い状況が起きたが、音響業者の感染者は出ていない。コロナ禍が始まってから努力してきた、業界の衛生管理への取り組みが間違っていないという事だ。他者へ感染させないことはもちろん、自らが感染しないように防御するためと考えれば、多くの取り組みも当たり前でできるのではないか。
- b. 現場で苦勞されている皆さんの声を『特ラ機構レポート』に掲載したらどうか？
- c. コロナ禍での音響の現場は過酷なものがある。現場での緊張で精神的にダメージを受

けているスタッフもいる。それに追い打ちをかけることになるので、『特ラ機構レポート』は音楽の話や美しい紀行写真などを掲載したほうが良い。コロナ禍の現場レポートは、収束後としたらどうか。

- d. PCR 検査で陽性となった場合の不安から、スタッフのストレスは大きい。精神的なケアが必要になる。
- e. 一般的な風邪で熱を出したスタッフがいて、検査、隔離と本人も周囲も大変だった。
- f. 長期にわたっているコロナ禍では、出来事に一喜一憂しないことも肝要。
- g. 来年 1 月に演者として舞台にあがるので、終了後に状況を報告する。

⇒ 以上の審議事項（１）～（４）について、審議の結果、出席理事全員の承認があった。

次回理事会（予定）

日 時 : 令和 3 年 2 月 3 日(水) 15:00 ~ 17:00
場 所 : 中野サンプラザ 6 階 フラワールーム

原稿をお寄せください！

「特ラ機構レポート」はみなさまの会報です。ご寄稿をお待ちしております。

ラジオマイクの技術や運用 研究、開発とまで行かなくても「こんなことをやってみました」「こんな使い方もあります」などなど。みんなに知らせれば役に立つだろうと思われること。なんでもけっこうです。

映像、音響全般の技術や運用 ラジオマイクに限らずお寄せください。

こぼれ話 南から北から周辺の話題を拾ってください。観光宣伝でも舞台やイベントのこぼれ話でも、美味しいお店の紹介でも。ラジオマイクは全国を巡っています。

特ラ機構への意見 苦言、提言、気付かれたこと、なんでも結構です。組織・活動を充実させるため、前向きな建設的なご意見をお願いいたします。

寄稿は会員に限らず「特ラ機構レポート」をお読みの方ならどなたからでもお受けいたします。レポートに掲載させていただいたものには、些少ですが、原稿料を差し上げます。

メールでの寄稿、大歓迎です。Email : office@radiomic.org

運用連絡と調整の総件数

2020年10月～11月
理事会資料 R2-4-01a

1. 最新の運用連絡・調整の総件数（新周波数帯）

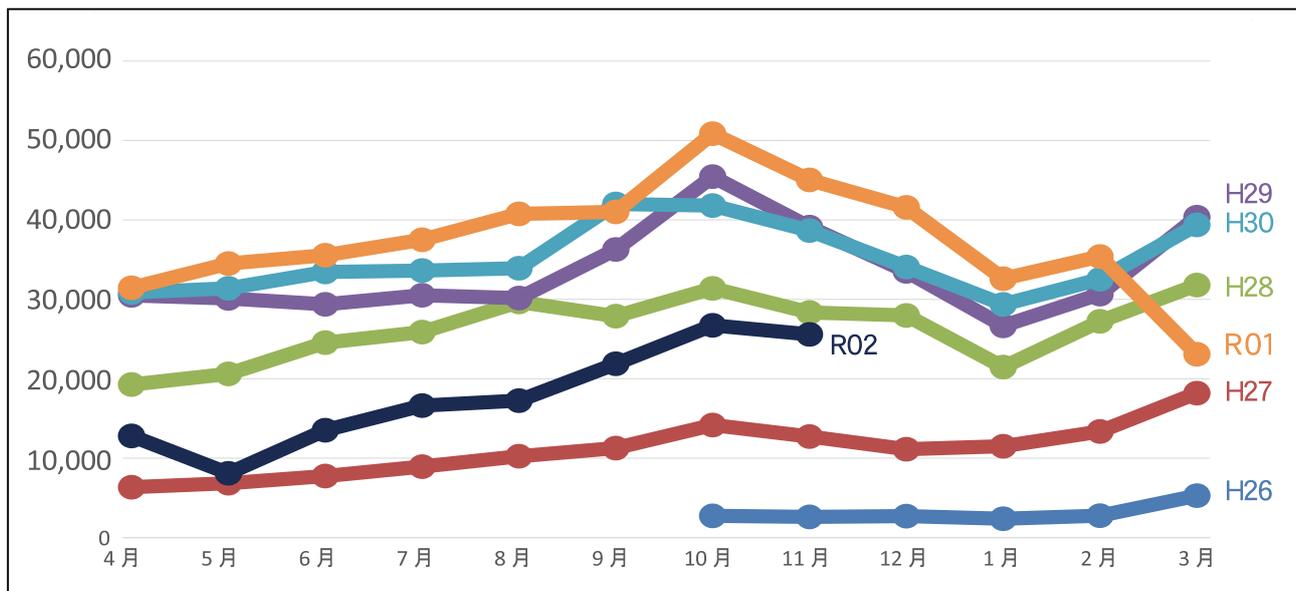
各年度月別運用連絡・調整総件数 ※2017年4月から2019年11月までのデータは2019年12月2日時点で再集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
26年度							2,858	2,730	2,825	2,501	2,880	5,366	19,160	3,193
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	26,511	25,387						

	コロナ禍の期間		2ヶ月間の総件数	
	3月～11月	4月～11月	8月～9月	10月～11月
前	352,499	313,518	80,946	94,867
当	164,699	141,748	38,903	51,898
	(-187,830) 件減	(-171,770) 件減	(-42,043) 件減	(-42,969) 件減

	1ヶ月間の総件数							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
前	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561
当	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	26,511	25,387
	(-18,392) 件減	(-26,045) 件減	(-21,728) 件減	(-20,593) 件減	(-23,184) 件減	(-18,859) 件減	(-23,795) 件減	(-19,174) 件減

各年度月別運用連絡・調整の総件数の推移



2. 前年同期（2019年10月～11月）と当期（2020年10月～2020年11月） 2ヶ月間の運用連絡（受信）・調整（送信）件数を比較する

（1）2ヶ月間の運用連絡・調整の総件数

前年同期に比して、**42,969** 件の**減**となった。

2ヶ月間の運用連絡・調整数					
前々期 2018年度(10月～11月)		前年同期 2019年度(10月～11月)		当期 2020年度(10月～11月)	
受信数	33,304	受信数	37,000	受信数	25,109
送信数	46,355	送信数	57,867	送信数	26,789
計	79,659	計	94,867	計	51,898
比率(送信/受信)	1.39	比率(送信/受信)	1.56	比率(送信/受信)	1.07

（2）1ヶ月単位での総件数と受信数について

COVID-19 感染症拡散防止の対応で3月の運用連絡【受信数】は前年比 4,506 件減となった。
5月の受信数は、前年比で 10,712 件減となったが、6～7月と受信数は増加した。
8月は横這いとなったが、10月受信数は、8月と比べて 3,868 件増加した。
10月をピークに下がっていく傾向は、総件数を表示した折れ線グラフにも表れているが、感染者数の増加が懸念されることもあり、慎重に見守る必要がある。

（3）2ヶ月間の連絡（受信）件数に対する調整（送信）件数の比率について

運用連絡【受信数】を見ると、前々期（33,304）、前年同期（37,000）に比べ、当期（25,109）は減少している。

連絡件数に対する調整件数の比率でも、前年同期の 1.56 倍から 1.07 倍に下がっている。

3. 各年度月別運用連絡・調整総件数の比較から、コロナ禍での影響を見る

各年度月別運用連絡・調整総件数

※ 2017年度以降のデータは 2019.12.02 時点で再集計。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	28,511	25,387						
前年との差	-18,392	-26,045	-21,728	-20,593	-23,184	-18,859	-23,795	-19,174		+3,193	+2,823	-16,060	+27,909	+2,326

2018年度と2019年度の比較		
	1年間の合計	1ヶ月の平均
2018年度	417,038	34,753
2019年度	444,947	37,079
	27,909 件増	2,326 件増

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント

(令和2年10月～11月)

イベント名	日程	施設	運用社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	711-714	1.2GHz	
FOOD展 2020 他	10/ 5 - 10/ 9	東京ビッグサイト	4	7	6	6	22	34
第10回 農業 Week 他	10/13 - 10/16	幕張メッセ	3	4	6		16	22
第11回 Japan IT Week【秋】 他	10/27 - 10/30	幕張メッセ	5	8	6	2	20	28
第7回日経・FT 感染症会議	11/ 5 - 11/ 7	パシフィコ横浜	1	4	15	6		21
dynabook Day 2020 他	11/ 9 - 11/10	東京ビッグサイト	7	7	8	12	10	30
癒しフェア 2020 in TOKYO	11/21 - 11/23	東京ビッグサイト	2	2			24	24

運用局数20局以上を表記 ※周波数配分イベント 表1

令和2年10月から11月の2ヶ月間に、主な施設で特定ラジオマイクが運用されたイベントは40件でした(昨年比△97件)。

これらの施設では、イベントの他にコンサートなどの配信にかかるものなどが40件開催され、握手会・ハイタッチ会の開催はありませんでした。

5. 干渉報告

1. 日時 令和2年10月16日(金)～18日(日)

場所 東京都中央区築地 1-13-14 NBF 東銀座スクエア 博展 本社スタジオ

報告者 070-0170 株式会社ケイジーサウンドプロダクション 秦 鉄平

10月16日(金)～18日(日)東京都中央区築地 1-13-14 博展スタジオにて運用されていた、711～714MHz ラジオマイク専用帯で、プツツ・プツツという音声断を伴う干渉を受けたとの報告があった。

同期間の周辺エリアに於ける移動局ならびに固定局の運用を調べ、更に離隔距離の範囲を広げてラジオマイク専用帯の運用も確認したが、システム上では影響を与える他の無線局は発見出来なかった。

後日、秦氏からは、同日運用していた機材をチェックしたが不具合は発見されず、干渉の原因は不明との報告を頂いた。



新規加入会員紹介コーナー

令和2年10月～令和2年11月

関 東

● ベースメント合同会社

会員番号 030-1039

代表社員 岸 邦彦

入会：令和2年 10 月 6 日

移動

シユア…2 局

〒 182-0004 調布市入間町2- 28 - 18 112

運用担当者 初鹿 恵介

TEL 03-3327-8866

E メール hatsushika@basement-llc.work

● エスアールテックプランニング合同会社

会員番号 030-1040

代表社員 高橋 宏幸

入会：令和2年 10 月 30 日

移動

〒 191-0032 日野市三沢2- 35 - 9

運用担当者 高橋 宏幸

TEL 090-3311-5429

E メール h.takahashi@srtechplanning.co.jp

【ひとこと】 2019 年に 36 年間のサラリーマン生活を卒業し、独立開業いたしました。今まで培った技術と人間関係を大切に、ますます精進して参ります。

● 公益財団法人やまなし産業支援機構（山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨）

会員番号 030-1041

理事長 手塚 伸

入会：令和2年 11 月 5 日

固定

ゼンハイザー…6局

〒 400-0055 甲府市大津町 2192 -8

運用担当者 矢崎 孔明

TEL 055-243-1811

E メール yazaki@yiso.or.jp

【ひとこと】 アイメッセ山梨は、山梨県における産業の振興と文化の向上を図るために建設されました。産業分野での新製品の展示や新技術の紹介などを通し、情報・技術・文化の交流を促進する場として活用していただきたいと願っております。

● 小松崎 永行

会員番号 030-1042

小松崎 永行

入会：令和2年 11 月 16 日

移動

レクトロソニックス…2局

〒 252-0203 相模原市中央区東淵野辺1-8- 20

運用担当者 小松崎 永行

TEL 080-5408-0897

E メール ultraviolet@mrb.biglobe.ne.jp

● 株式会社サクラサウンド

会員番号 030-1043

代表取締役 吉本 晋也

入会：令和2年 11 月 16 日

移動

シユア…28 局

〒 211-0044 川崎市中原区新城2-8-4-3

運用担当者 吉本 晋也

TEL 090-3940-8659

E メール yoshimoto@sacra-sound.com

● 松竹ナビ株式会社

会員番号 030-1044

代表取締役 因藤 靖久

入会：令和2年 11 月 17 日

移動

シユア…12 局

〒 104-0045 中央区築地4-1-1 東劇ビル 12 階

運用担当者 安東 侑希

TEL 03-5550-1730

E メール yuki_ando@shochiku.co.jp

信 越

● 川久保 克俊 (KSR)

会員番号 040-0039

代表者 川久保 克俊

入会：令和2年 11 月 27 日 移動

シユア…8局

〒 390-0825 松本市並柳4-5 A5-1号

運用担当者 川久保 克俊

TEL 0263-87-1364

E メール kawakubo-sound@snow.plala.or.jp

【ひとこと】この度仲間入りさせていただきます。

私は大鹿歌舞伎（国重要無形民俗文化財）、ワインの産地塩尻ワインフェスタ、獣系着ぐるみ JMoF 他近隣の音響を担当させていただいております。

近 畿

● 積水ハウス株式会社 (W OSAKA)

会員番号 070-0318

代表取締役 仲井 嘉浩

入会：令和2年 11 月 10 日 固定

シユア…24局

〒 542-0081 大阪市中央区南船場4-3-1

運用担当者 那俄性 一志

TEL 06-6440-3565

E メール hnagase@wbr.sekisuihouse.co.jp

● 枚方市 (枚方市総合文化芸術センター)

会員番号 070-0319

市長 伏見 隆

入会：令和2年 11 月9日

固定

シユア…40局

〒 573-1191 枚方市新町2-1-60

運用担当者 杉本 裕香

TEL 072-841-1409

E メール bunshin@city.hirakata.osaka.jp



第20回 特ラ機構 技術賞 受賞者

金 賞

一般部門（映像）

株式会社インフ 田中 杏奈

敬老の日 スペシャル「心の絆」北陸新幹線のトンネルを掘る単身赴任のパパに会いに行く！（BS 日テレ放送）

「夏休みを利用して、子供たち二人がおばあちゃんと一緒に、父が働く新北陸トンネルの工事現場を訪れるという、ホームドラマの要素を取り入れたドキュメンタリータッチの番組。全体に音のバランスが良く、安定感があり、作り手の姿勢がよく現れている作品になっていた」

銀 賞

一般部門（舞台・イベント）

株式会社NHKテクノロジーズ 黒沼 正人

ラジオ番組「すっぴん！ ファン感謝祭スペシャル」

「みんなの広場ふれあいホールにおいて、3時間45分という長時間の生番組を、ワイヤレスマイクと周辺機器の巧みな使用とミキシング技術により、ラジオの良さを活かした楽しい番組に仕上がっていた」

奨励賞

一般部門（映像）

中京テレビ放送株式会社 放送技術部 前田 英人

「ササシマ MUSIC BASE # 22」4KVR + Ambisonics Mixing

「音楽ライブ番組において、VR（バーチャルリアリティ）動画の制作と、それに伴う空間音声の360度ミキシング技術により、視聴者の視点に合わせた定位の変化を捉えた番組を制作した」

特別奨励賞

一般部門（その他）

松竹ショウビズスタジオ株式会社（担当者：青山 明夫）

新橋演舞場「外来電波対策 電磁シールドフィルム工事」

「電磁シールドフィルムの遮蔽効果を検証し、厳しい環境での外来電波対策に活用した意義は高く、特定ラジオマイクの運用で、同様の問題を抱える施設改修の、モデルケースとなることを期待する」

【学生部門】

金 賞

学生部門（ミュージカル）

昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術運営学科 舞台スタッフコース 12 期 音響セクションミュージカル「スーシカル」TM

「2チームのオール学生スタッフとキャストによる卒業公演は、準備から稽古、本番、バラシまで、作業期間は4ヶ月だったという。DVDでの評価ではあるが、学生たちの創意工夫と情熱により、音楽、台詞、歌のすべてがバランスよくまとまっていた」

銀 賞

学生部門（映画）

日本大学 芸術学部 映画学科 撮影録音コース 3 年 西田 康佑
「いつもより」

「短い作品であったが、内容がしっかりしていて、解りやすく丁寧に作られていた。また、細かな音もしっかりと集音されていて、視聴者に優しい作品創りとなっていた」

銀 賞

学生部門（映画）

東放学園音響専門学校 MAゼミ
「アイドル冥府魔道」リミックスバージョン

「プロとの共同制作という恵まれた作品で、ゼミの学生は音声部門を担当、作曲もエンディングで流れるテーマ曲以外は、すべて学生が作曲したという点は好印象だが、残念なことに、劇中のBGMは、低音がブーミーでレベルも少し大きすぎた印象がある。また、冒頭のライブハウスのシーンは、生録音だとさらに良くなったと思う」

奨励賞

学生部門（映画）

日本大学 芸術学部 映画学科 撮影録音コース 4 年 長谷川 ゆい
「日々」

「冒頭のカラフルな食卓の俯瞰映像は、音のインパクトもあり面白い掴みだが、川原のシーンでは音楽を下げるなど、声とのバランスを取るための細やかな詰めが、もう一歩足りなかったのが残念だ」

奨励賞

学生部門（ドラマ）

東放学園専門学校

2019 年度 東放学園専門学校 ドラマ制作「Y o u 活中」（担当者：稲生 力）

「全学科参加のプロ指導による体験学習型ドラマ制作だ。演出も良くレベルの高い作品であったが、部屋の中とベランダでの会話シーンでは、ベランダにいる主人公の台詞が呟いている感じで、部屋の中の人物との距離感もなく不自然だった」

★八幡賞★

一般部門（その他） 特別奨励賞

松竹ショウビズスタジオ株式会社（担当者：青山 明夫）

新橋演舞場「外来電波対策 電磁シールドフィルム工事」

「電磁シールドフィルムの遮蔽効果を検証し、厳しい環境での外来電波対策に活用した意義は高く、特定ラジオマイクの運用で、同様の問題を抱える施設改修の、モデルケースとなることを期待する。」

令和3年 第21回 特定ラジオマイク運用調整機構 技術賞 「特ラ機構技術賞」の募集を開始いたしました

締め切り：令和3年3月31日(水)

選定の対象と種類

令和2年1月1日から令和3年3月31日までの、1年3ヶ月間（15ヶ月）における作品で、下記に該当すると思われるものをご推薦願います。

この賞は、会員すべてに応募の権利があり、特定ラジオマイクの使用本数とは関係ありません。地方色豊かな創作劇などの公演やイベントの記録、放送番組など、身近な作品の応募をお待ちしております。

1. 一般部門 「舞台、イベント」、 「TV、映画作品」、 「その他」
2. 学生部門 「すべてのジャンル」

※詳しくは、下記 URL をご確認ください。

<https://www.radiomic.org/Dwnld/info/20210101gijutsu-sho.pdf>

マラソン、駅伝・イベントの情報

コロナ禍の中、イベントも中止やオンライン開催が増える中、令和3年も元旦から第65回全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝）が始まり、2日・3日が、第97回東京箱根間往復大学駅伝大会マラソンと、年始の駅伝は今年も無事に開催されそうです。

レースや、イベントに近接する施設等での使用が想定される際は、中継放送局等とのスムーズな打ち合わせを図るため、**早めの運用連絡送付（日・祭日を除く2日前までが原則ですが、さらに余裕をもって）**をお願い致します。

マラソン、駅伝は（公財）日本陸上競技連盟の主要競技会日程から、イベントは各会場のイベントカレンダーから情報を集めています。（12月14日現在の情報）

マラソン・駅伝

日 程	競 技 会 名	場 所
1月17日【中止】	第39回 都道府県対抗女子駅伝	京 都（京都）
1月24日【中止】	第26回 都道府県対抗男子駅伝	広 島（広島）
1月31日	第40回 大阪国際女子マラソン	大 阪（大阪）
2月28日	第76回 びわ湖毎日マラソン	滋 賀（大津）
3月14日	名古屋ウィメンズマラソン 2020	愛 知（名古屋）

イベント

日 程	展 示 会 名	会 場
1月15日～17日	東京オートサロン 2021	幕張メッセ
1月16日～31日	次世代ワールドホビーフェア	オンライン
2月12日～14日【中止】	大阪オートメッセ 2021	インテックス大阪

♪ **ルールを守って クリアな運用** ♪



地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について

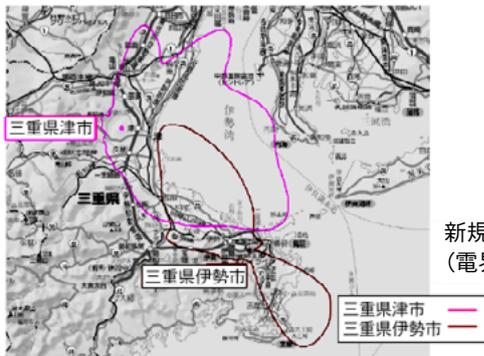
一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)では、東京・名古屋・大阪・福岡地区において、地上デジタル放送の高度化に向けた実験試験局による電波発射を実施しています。さらに今年度は、三重県津市及び伊勢市に小規模な実験試験局を設置し、新たな実証実験を行う計画を立てております。

追加地区を含めた電波発射スケジュールは下記のとおりです。

<電波発射スケジュール>

地 区	電波発射日程	T Vチャンネル	備 考
東 京	1月12日～3月5日(予定)	UHF 28ch	
福 岡	3月上旬～3月下旬(予定)	UHF 51ch	
名古屋(名古屋市昭和区)	2月上旬～3月下旬(予定)	UHF 35ch	
名古屋(愛知県弥富市)	2月上旬～3月下旬(予定)	UHF 25,35ch	25ch 追加
☆三重県津市	2月中旬予定	UHF 25ch	新規追加
☆三重県伊勢市	3月上旬予定	UHF 25,35ch	新規追加

☆新規追加地区



〔注1〕電波発射時間は、土日祝を除く平日の10時～18時となります。

〔注2〕東京地区のUHF28chは、テレビホワイトスペースの割当がないため運用調整は発生いたしません。

新規追加地区の実証実験の想定エリア
(電界強度：60dB μ V/m エリア)

この電波発射に伴い、日時、場所によって特定ラジオマイクの運用調整が必要となる場合があります。放送サービス高度化推進協会(A-PAB)の「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページをご確認いただき、ご対応下さいますよう、よろしくお願い致します。

<https://tvkoudoka.jp/>

また、当機構ホームページに開設している「地デジ4K・8K実験試験局情報」では、東京・名古屋・大阪・福岡地区の電波発射スケジュールや運用調整など、特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしていますのでご活用下さい。

<https://www.radiomic.org/>

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

移動会員の運用連絡票提出遅れ・誤記による 混信寸前の重大インシデント発生中

特定ラジオマイクの運用調整に必要な『**運用連絡票**』(※)は、
極力、**運用 2 日前**までに当機構事務局へ提出して下さい。

※固定会員は『運用連絡票』を提出する必要はありません

運用調整システムへの登録がない状況で運用する事は、

混信を起こしたり、現場同士のトラブルに繋がります。

急遽仕事が増える事も多いとは理解していますが、日程が迫っている場合は特に、「**運用調整システムへの登録完了後、他社との運用調整が可能か**」を考慮に入れて下さい。

また、正確な情報を登録する為に、送信前に記載内容を再度ご確認ください。

主な誤記・記入漏れ内容

- 運用日時の誤記
- 使用場所の「施設名」「住所」「適用エリア」の記入漏れ、誤記
- TVWS 帯使用不可チャンネルの申請
(チャンネルリストに掲載の無い施設では WS 帯は使えません)

記載内容に不備があると、確認作業などの為、登録までに時間がかかります。

【運用連絡票受付時間】

平日・土曜日 9時30分～18時00分まで (日曜・祝日は休業日)

※なお、連休は特別営業を実施し、その詳細はホームページで告知致します。

営業時間外に送られた運用連絡は翌営業日の処理となりますので、
特に週末や連休前は余裕をもって、早めに運用連絡票をお送り下さい。

運用連絡票の送付先は、rm-unyo@radiomic.org です。

運用調整システムからの自動送信メール (rf-no_reply@rf-unyo.jp) にはメールを送らないでください。

混信回避の為、運用調整を前提にした免許制度になります。

クリアな運用環境が維持できるようご協力をお願い致します。

ちょっとブレイク

「食いしん坊のお話」

みなさまはじめまして。昨年4月から特ラ機構に入局しまして、技術委員会を主に担当しております、平山恭兵と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

なかなかこのコロナ禍の中で会員の皆様に実際にお会いしてご挨拶する機会がなく、この場をお借りしまして、今回は自己紹介に代わり「ちょっとブレイク」の原稿を書く事となりました。



以前は現場に携わっていた事もあり、現場の楽しみといえば食事でした。ツアーに回っている間に、20kgも体重を増やした事があるくらい食べる事が大好きです(実話です)。

先日、テレビを見ていましたら、「ロケ弁特集」というのをやっています、思わず見入ってしまいました。出演者さんの好きなおかずのレシピを教えてください、その通りに実際に出演者さんが作って、大好きなおかずばかり入っているお弁当を作ろうという番組なのですが、有名なお弁当屋さんのおいしそうなおかずばかりで、見ていてお腹が鳴ってしまいました。そんな番組の企画に乗かって、僕もお弁当の話をしようかと思います。



皆さんは好きなお弁当、好きなお弁当のおかずは何ですか？

僕は挙げだすとキリがないのですが、現場で食べるという事を考えると崎陽軒の『シウマイ弁当』を推したいです。なんとと言っても「冷めても美味しい」という通り、ごはんもおかずも冷めていてもおいしく食べられます。できれば用意されたばかりの温かい物を食べたいところ

ですが、いつ食事休憩をとれるか解らない現場にとって、冷めても美味しいというのは、有難いのではないのでしょうか。中のおかずも、シウマイはもちろん、筍の煮物や、鮪の漬焼など、ごはんに合うおかずばかりで、大好きなお弁当です。

温かいといえば、話は脱線しますが、この寒い季節には『肉まん』もいいですね。

大阪にいくと551の肉まんを差し入れて頂き、イベントターさんがコンビニさながらの蒸し器で温めてくれて…

楽屋中、肉まんの匂いになるんですよ。誰かがお土産で新幹線に持ち込んだ際も、車両全体、気が付いたら肉まんの匂いが… というのも、思い出の一つです。



さて、我々にとってお弁当といえばロケ弁だとは思いますが、一般的には、「駅弁」が有名ですね。百貨店でも、「日本全国駅弁祭り」のような催事があるくらい、メジャーで集客のある駅弁ですが、中でも日本で一番有名？と思われるのはおぎのやの「峠の釜めし」ではないでしょうか。益子焼の釜に入ったあの独特のフォルムはお弁当の中でも特殊です。中は当然おいしく頂いて、残った立派な釜ですが、せっかくの焼物ですから洗って再利用する事が公式に推奨されていて、直火でお米の1合炊きで使ったり、オープンに入れる事もできるのでグラタンなども作れるそうで、オススメのレシピがおぎのやのホームページに掲載されていました。興味のある方はぜひご覧ください。

食いしん坊のお話にお付き合い頂きありがとうございました。



事務局 平山 恭兵



前特ラ機構レポート編集長 武藤一郎より 「退職のご挨拶」



平成 25 年（2013）6 月、特定ラジオマイク利用者連盟事務局に入局以来 7 年 4 ヶ月、皆様方には大変お世話になりましたが、令和 2 年（2020）9 月末にて（一社）特定ラジオマイク運用調整機構を退局いたしました。

思い起こせば、高校時代放送部でテープレコーダーを操作して以来、音の仕事に就こうと想い、大学時代のアルバイトが縁で、昭和 45 年（1970）3 月近畿観光株式会社（赤坂・ミカド）芸能部・舞台音響係に入社、平成 25 年（2013）3 月青山劇場を退職するまで、43 年間舞台音響の仕事に従事することができました。

特に昭和 60 年（1985）9 月、青山劇場に入ってから多くの諸先輩にお会いすることができ、赤坂・ミカドでのレビューショーだけの、言わば「井の中の蛙」状態から、舞台音響に関する様々な催しを見ることができ、音響に関する多様さを勉強することができました。

舞台音響 43 年間の締め括りに青山劇場の開催で私の送別会を開催していただきました。

諸先輩・関連会社など大勢の方々の中に予想

を超える大先輩、特ラ連の、八幡泰彦会長がご出席くださいましたことには驚きました。

それから数日後、八幡会長より電話をいただき、今後はどうするのか？、もし何も決まっていないなら特ラ連を手伝ってもらえないかとのお誘いを受け、二つ返事をお願いいたしました。

西日本の免許・情報通信月間推進協議会・特ラ機構レポート・特ラ機構技術賞などを担当いたしました。周波数移行の期間でもあり、これも皆様のご協力あってのことと感謝しております。

43 年間の舞台を支える裏方として音響に従事してきましたが、退職後も、会長のお誘いにより、裏方の裏方として特ラ機構の一員に 7 年余り従事でき、今年で音響一筋 50 年を迎え、退職することといたしました。

お世話になりました理事の皆様にはご協力に感謝するとともに、今後とも特ラ機構をよろしくお願い申し上げます。

2020 年 9 月 30 日 武藤 一郎



事務局員年頭挨拶

新年の挨拶

コロナ禍の影響が収まらない中ですが、収束を願いつつ新年のご挨拶ならびにコロナ禍の影響下のご苦勞に心よりお見舞いを申し上げます。

本年は平穩な日々が戻る事と信じつつ、会員の皆様の一助になれますよう努力邁進していく所存です。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。 (木村)

新年あけましておめでとうございます。

昨年は新型コロナに翻弄され、音響業界にとって厳しい1年となりました。事務局では時差通勤やテレワークを併用して、新型コロナに「恐れず、侮らず」業務を継続。運用連絡をテレワークで処理する仕組みをつくるにあたっては、若手事務局員の活躍に頼もしさを感じました。

今年は、世界的に新型コロナを封じ込め、東京オリンピック・パラリンピックの開催、そして音響業界が多忙となることを期待します。もちろん、事務局も万全の態勢をもって2021年を乗り切ります。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。 (石川)

新年明けましておめでとうございます。

東京オリンピック・パラリンピック大会期間中の運用に関しましては、まだ不透明な部分も多々ありますが、関係諸団体とも連携して成功させたいと願っております。 (甲田)

新年明けましておめでとうございます。

不安な世の中ですが、グルメ、音楽、スポーツ……何でもいいので自分なりに楽しいことを見つけてやり過ごしていきましょう。2021年が皆様にとって良い年になりますように。 (松崎)

明けましておめでとうございます。

昨年は、ものごとの捉え方、考え方を覆されるような1年だったように思います。決して無駄にはせず、これからも邁進してまいりたいと思います。

皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。 (干川)

新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの影響により、公共交通機関の利用が大きく減り、逆に自転車に乗る機会が増えました。ふと、昨年の走行距離を振り返ってみると約3,500km(日本列島とほぼ同じ長さ)を記録しておりました。新型コロナウイルスの1日も早い収束を願いつつ、「密」にならない程度に今年も自転車を続けていきたいと思ひます。

皆様今年もよろしくお願ひいたします。 (渡辺 聖尚)

事務局員年頭挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年は暗い話題が多かったですが、今年は明るい話題が尽きない一年になりますよう願っています。
(平山)

新年あけましておめでとうございます。

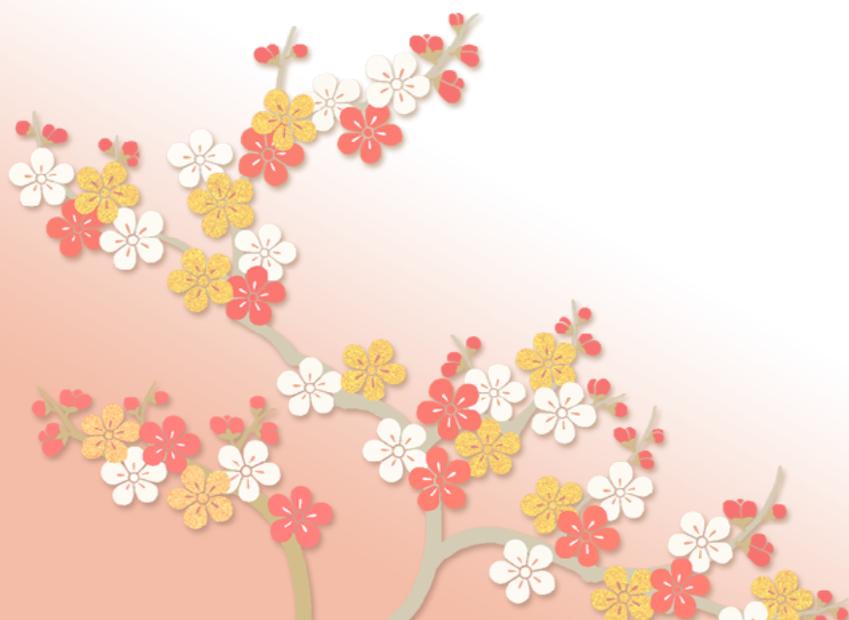
旧年中はひとかたならぬご厚情をたまわり、誠にありがとうございました。
令和3年(辛丑)の年頭にあたり皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。
(中島)

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。運用連絡の登録業務を担当しています。皆様にお問い合わせすることもあるかと思いますので、その際はよろしく願いいたします。
(吉田)

あけましておめでとうございます。

昨年は仕事環境の変化に追われていたこともあり、心なしか早く過ぎ去ったようにおもいます。
未だに先行きは不透明な日々ですが、未来に向けて今年は知識の更新(こ「うし」ん)を目標にして精進いたします。どうぞよろしく願いいたします。
(杉山)



事務局便り



■入力完了通知メールの配信について

これまでは運用調整が発生した場合にのみ「運用調整についてのお願い」の PDF 付きお知らせメールをお送りしていましたが、運用調整が発生しない場合にはメールが送られない為、「入力処理が完了しているかどうか分からず不安である。」という声を頂いていました。

そこで、希望される方に対して、運用調整が発生しない場合には入力完了の通知メールを送信することに致しましたので、希望される方は運用連絡票のコメント欄に

【入力完了メールの送付を希望】 などとご記入下さい。

なお、運用調整が発生する場合は、今まで通り全ての運用調整対象者の方に「運用調整についてのお願い」の PDF 付きメールが送信されます。

どちらのメールも、運用担当者と現場担当者へ送付されます。

■運用連絡票送付時の注意事項について

最近、「〇〇市全体」や「〇〇エリア一帯」という形で運用連絡を頂く事が多くなっています。

特にテレビ制作現場において、「制作から情報が下りて来ず詳細不明」であったり、「どこに行くか当日までわからない」といった事情もあるかとは思いますが、広い場合半径数キロにわたり混信判定をかける必要が出てくる為、多くの会員様との運用調整が発生します。また、近づかない場所との運用調整も必要となる事が有り得るため、他の会員様へ迷惑がかかります。その為、私共ではこういった運用連絡を受けた場合は極力 A 帯の使用を避けて頂くようお願いしています。

どうしても、移動しながら特定ラジオマイクが必要な場合は、マラソン中継などと同様に移動する正確なコースをお知らせ下さい。地図データに移動経路情報を登録し、ルート上を辿り混信判定を行う方法で運用調整システムに入力致します。

また、こういった特殊な運用の際は、まず早い段階で事務局までお問合せ・ご連絡を頂きまして確認頂ければと思います。

事務局便り



■当機構へ再免許申請（免許更新）をご依頼頂いた皆様へ

令和3年（平成33年）5月末日に失効する、特定ラジオマイク無線局の再免許申請（免許更新）を当機構へご依頼頂いた会員様につきまして、有効期間が延長された新しい免許状は、令和3年5月末日までに運用ご担当へ郵送致します。

事務局免許担当／石川・渡辺聖尚

■令和2年度機構関係費用のお振込みをお願いします。

令和2年度決算期日が間近になりました。毎年のお願いですが、機構関係費用が未納の会員社はお振込みをお願いします。前年度よりの未納がある場合は併せてお振込みください。

編集後記

Rock好きの母の影響で幼い頃からビートルズを聴いて育ちました。2020年は、ジョン・レノンの生誕80年、凶弾に倒れてから40年に当たり、各メディアで様々な特集が組まれています。そんなこともあり、先日六本木にある ABBEY ROAD というライブハウスに足を運んでみました。コロナ対策万全の中、来日中のポール・マッカートニーからプライベートパーティーに招待され、共演を果たしたこともある The Parrots という実力派トリビュートバンドの迫力ある生演奏で会場の老若男女は大いに盛り上がりました。私のイチオシは Blackbird です！やっぱり音楽っていいですね♪1日も早く安心して音楽を楽しめる日常が戻り、音響業界が元気になりますように。

(松崎)

◆ ABBEY ROAD Tokyo

〒106-0032 東京都港区六本木5丁目16-52
Forum, Imperial Roppongi II B2
03-5544-9817 <http://www.abbeyroad.ne.jp/>



キャロライン・ケネディ駐日米国大使お別れ会で演奏した The Parrots のメンバー（2017年1月：アメリカ大使公邸）。※2017年12月より新メンバーで活動中。